



稲井 信雄 氏

勲五等に叙せられる



大阪出張所

元地質調査所大阪出張所長稲井信雄氏が 昭和54年春の叙勲で勲五等瑞宝章を授与され 5月8日に伝達式が行われました。 同氏に対し心からお祝い申し上げます。

稲井氏は 昭和11年京都帝国大学理学部地質学鉱物学専攻を卒業され 昭和21年まで帝国鉱業株式会社などの企業において 時局の要請により鉱産資源の調査開発事業に活躍されました。 昭和21年から昭和23年まで 商工省地下資源調査所の嘱託となられ 主に炭田開発調査に従事され 大戦後の乏しいエネルギー資源確保のために貢献されています。

昭和23年炭田開発事業の発展解消とともに 商工省地下資源調査所に入所され 石炭調査部（現地質調査所燃料部石炭課）配属 引きつづき炭田開発に活躍されました。 とくに中小炭田の開発指導と育成に大きく貢献されています。 昭和25年地質調査所四国出張所長を振り出しに 昭和27年同九州出張所長・昭和37年同大阪出張所長を歴任され 地域開発の指導に専念され 地域産業に大きく貢献されています。 氏は九州出張所長在任中 地下資源開発審議会専門委員・福岡県開発審議会専門委員となられ 主として炭田開発の指導を行われ 一方通商産業省公益事業局の併任として ダム地質の調査研究



稲井 信雄 氏

をなされ 多大の業績を挙げられました。 これらの多年の研究成果を総括されて 昭和37年九州大学から学位を授与されています。 氏のダム地質の研究成果は九州におけるダムサイト基盤の適合性を論じたもので 関係方面ではダム設定計画段階での工事に対する事前評価事項として評価され利用されており さらに ダムサイト基盤にとどまらず 発電用導水トンネル設定についても 地質と降雨から適切な指導を行われ 九州地方の電源開発に果された貢献は 広く大きいものがあります。

大阪出張所長在任中は 国内鉄鋼原料開発調査近畿地方委員会委員として 丹波帯に賦存するマンガン鉱床の調査計画を立案指導され その重責を果しておられます。 その他 近畿地方工業技術連絡会議 大阪市地盤沈下技術調査会 山陽新幹線六甲予い道地下水調査委員会 阪神道路公団兵庫県道高速神戸西宮線地下水調査会などの委員ともなわれ 豊富な経験を生かして広範な指導に当たられました。

昭和44年3月退官後は 基礎地盤コンサルタンツ株式会社にあつて コンサルタント業務に従事され とくに軟弱地盤 地すべり調査に多年の経験と広範な学識をもって当られ 地すべりの機構の解明と対策に貢献されています。

以上稲井氏の業績の一端を述べましたが 氏の温厚な人柄で出張所員をまとめて 地質 地下資源の調査を推進され 地域開発研究を通じて地質調査所の活動に貢献されたことは 大きな業績と考えられます。

昭和51年5月基礎地盤コンサルタンツ株式会社を辞任され 京都洛西にて充実した日々を送っておられます 今後なお一層の長寿と御健康をお祈りいたします。

